

平成25年度 事業報告書

平成25年 6月 1日から平成26年 5月31日まで

特定非営利活動法人全日本聴覚障害スキー指導員会

1. 事業の成果

当年度は、(1)聴覚障害者のスキー技術の向上を図る為、第11回西日本ブロックスキー講習会を実施、第17回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会を開催しました。(2)聴覚障がい児のスキー普及活動の促進を図る為、昨年に続きスキー教室への講師を派遣しました。(3)聴覚障害者へのスキー啓発・広報を目的として、個人啓蒙活動を活性化しました。以上の3点を重点課題として下記の事業に着手しました。

(1)聴覚障害者のスキー技術向上を目的とする事業について「第11回西日本ブロックスキー講習会」は継続事業として石川県一里野温泉スキー場で開催しました。西日本在住の児童・生徒も含め参加者を募り、昨年に続き西日本のデフわんぱくスキー教室を兼ねて実施しました。例年に比べ参加者が増え、過去最高の参加者数となりました。一里野温泉スキー場は、豊富な積雪で貴重な滑走しやすい雪質により、受講者のスキー技術習得に大いに助けとなりました。また、良質な雪は安全面においても良好な条件となり、大自然のなかでスキーの魅力を感じ楽しむ機会となりました。しかし、スタッフが10名で通常より少なめだった為、指導が大変だったように思います。今後、スタッフが積極的に参加協力されることを期待したいと思います。

聴覚障害者のスキー技術向上を目的とする事業のもう一つ「第17回全日本聴覚障害スキー技術選手権大会」を、昨年に引き続き、西日本地域からの交通の便が良い長野県Mt乗鞍スキーリゾートで2月に開催しました。昨年は天候不順のため競技を中止することが多かったのですが、今回は快晴で良好な視界状況に加え、豊富な降雪と高い標高による締まった雪面状況が選手たちに最高の競技条件を与えることになりました。絶好の条件での競技は、日頃の練習成果を十分に発揮し、白熱の戦いが繰り広げられ、参加選手だけでなく、観戦に来ている方にとっても最高の大会となりました。また、競技バーンの状況が良好なことは、安全面においても良好なことであり、特別な配慮をせずとも安全が確保できることになり、運営が円滑に進められ、競技時間の短縮も図れました。

(2)聴覚障がい児を対象としたスキー教室について 継続7回目を迎えるデフわんぱくスキー教室は、前身の親子教室を含めるとジュニア育成事業としては実質10年目となります。当時の教え子がスタッフ講師となり、先生、元生徒、新たな生徒の3世代教室が実現しました。心疾患を抱える子(保護者もろう者)を保護者引率なしで受入れることになり、看護師指導のもと、観光協会、スキー場、宿舎、周辺医院と緊急搬送体制を整え、全保護者と2つ以上の連絡経路で双方連絡可の緊急連絡網体制を整えました。スキー場の新たなスキーゲートシステム導入により、これまで音だけだったゲート開閉に赤緑ランプ点滅が加わり、子どもたちにとって、大変スムーズなリフト乗車となりました。開催地への事前相談3年目を迎え、スタッフが都度説明しなくてもリフト運行速度を落としてもらう、スキー場スタッフの方から子ども達の近くに歩みよる等、理解が確実に進んでいます。スキー場内イベントでは、ゆるキャラぬいぐるみが積極的に子ども達のところに来てくれ、楽しい思い出の一つになりました。東京都スキー連盟加盟東京デフスキークラブの協力を得て、2泊3日の短期間でスキーバジテスト・ジュニアバジテスト両方を行い、参加60名中47名の合格者を排出しました。10年の経験を経て、運営体制がコンパクトになり、大雪に見舞われた前回と比べ、従事スタッフ負担は軽減されています。元生徒だったスタッフが参加したことで、子ども達の心によりいっそう寄り添える3日間となりました。日本ろう者スキー協会の尽力により、スキーとスノーボード両方のデモンストレーションを行い、子ども達にも関係者にも、大変喜ばれました。これらの模様は、NHK「ろうを生きる 難聴を生きる」で放送されました。

ろう学校スキー教室派遣事業について 昨年に引き神戸聴覚特別支援学校スキー教室が兵庫県アップ神鍋スキー場で開催され、高等部の生徒に対し5名の講師を派遣しました。岡山ろう学校スキー教室は鳥取県のだいせんホワイトリゾートスキー場に開催されました。今年度より高等部の1、2年生合同で隔年開催、日程も2泊3日から1泊2日と変更になりましたが、天候もまずまずの中で講師を担当した3名の指導員とその家族がサポート参加し、有意義なスキー教室となり、先生方からも今後も講師をお願いしたいと言って頂きました。川崎ろう学校スキー教室は、今回は高等部でも開催され、中等部は山梨県ふじてんスキー場にて、高等部は長野県菅平高原スキー場にて、同日程で2ヶ所3名の講師を派遣しました。

(3)聴覚障害者へのスキー啓発・広報の活動について スキー教室リーフレットを、ろう学校やろう者コミュニティに配布するだけでなく、職場・友人に積極的に手渡し、対話を重ねました。DVD映像も見てもらい、新たなスタッフ・子どもの参加に繋がりました。(財)全日本ろうあ連盟スポーツ委員会認定の技術スキーサイン用語(63単語)は、引き続き当会ホームページで公開しています。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
スキー指導に関する事業	第11回 西日本ブロックスキー講習会 (兼デフわんぱくスキー教室)	1月11日 ～1月13日	石川県 一里野温泉スキー場	10名	西日本の聴覚障害者と ろう児52名	1,150
同上	神戸聴覚特別支援学校 スキー教室派遣	1月16日 ～1月18日	兵庫県 アップ神鍋スキー場	5名	神戸聴覚特別支援学校 中等部・高等部 15名	0
同上	第7回 デフわんぱくスキー教室	1月17日 ～1月19日	長野県 菅平高原スキー場	34名	全国の聴覚障害児の 58名	2,533
同上	川崎ろう学校中等部移動教室	1月29日 ～1月31日	山梨県ふじてん スノーリゾート	2名	川崎ろう学校 中等部10名	0
同上	川崎ろう学校高等部移動教室	1月29日 ～1月31日	長野県菅平高原ス キー場	1名	川崎ろう学校 高等部2名	0
同上	岡山県立岡山聾学校高等部 スキー教室	2月 6日 ～2月 7日	鳥取県 だいせんホワイト リゾートスキー場	3名	岡山ろう学校 高等部 8名	0
大会開催 に関する事業	第17回 全日本聴覚障害スキー 技術選手権大会	2月24日 ～2月25日	長野県 Mt乗鞍スキーリゾ ート	8名	全国の聴覚障害者の 45名	120
聴覚障害者への スキー啓発・広報	コミュニケーションメディア を通じ不特定多数へ活動紹 介、総会の開催	通年	事務所	6名	不特定多数	320